

乾燥地に適する

混播牧草の栽培について

農林省中国種畜牧場飼料課長

高 本 晴 吉

わが国の畑作地は今後急傾斜地に伸びるものが多く、土壌侵蝕（エロージョン）を伴うことが考えられ、且つ夏季には乾燥する土地が大部分を占めています。

畑作振興には堆厩肥を十分に施用して地力を増進する必要がある、家畜が必須要件になる訳でそれには乾燥地に適する良い牧草を作らなければなりません。

牧草を入れた農業つまり草地農業を行うことにより、畑作地においては非常に有利な農業経営となります。

ここに広島地方で実施して適当と思われる牧草の栽培技術、特に混播方法を普及するために参考に供したい。

(1) この混播牧草の特色は次の点であり、
 荳科植物のクロバターの根瘤菌により地力を造成します。

(2) そして優秀な蛋白質飼料を生産し不本科、カロチン、ミネラルを豊富に含んでいます。

(3) イタリアンライグラスが混播される

ので九月播であれば一二月月上旬より翌年六月ごろ迄に四〜五回の刈取りができます。

(4) この混播牧草は一度播種すれば四〜六年間経済的な生産が続き播種に要する労力が節約できます。

(5) 夏季の乾燥に対しても強く、よく生育します。

◎この混播牧草の混播割合は次の如し。

反当播種量

イタリアンライグラス

オーチャードグラス

レッドクロバ

合計

一・五キロ

〇・八キロ

三・三キロ

の三種混播であります。この表の外にニューシーランドホワイトクロバ一〇・三キロを混合する方法もあり、これによりオーチャードグラスやレッドクロバの欠株の場所を埋める効果があります。

レッドクロバの中でケンランドクロバは病気に強く生育も優秀であると認められます。

◎播種期

暖地においては雑草の繁茂しない秋まきが成功しやすいが、春播でも雑草の生育が旺盛になると同時期に生育するように播種すればよろしいわけで当地方では春の彼岸ころより四月一〇日ころ迄に播種すれば良い成績をあげ得るようであります。

秋播の場合は要点は九月上旬より一〇月上旬までに発根した牧草が霜柱の害にかからない程度に生育することでありませぬ。

◎播種準備

土地は畑地でも開墾地でもよいが、最低堆厩肥一・二五キロ以上施す必要があり、特に反当の増収を欲する場合は十分厩肥を施すことであり、厩肥施用量の二倍程度の収穫を三〜四年位連続期待できます。

特に簡易な開墾をする場合は草地全面を

掃除刈りをして、その柴草を堆肥材料として使用し、地表面を僅かに六〜九センチ程度に浅く開墾します。

笹の根は丁寧に拾う必要はなく、堆肥は全面に撒布しておいてこれをよく鋤で打込んで炭カル三・〇〇キを全面に撒布し、熔成燐肥三〇キを全面に撒布し、塩化加里一五キ、尿素七・五キを施用し、地面をローキか又鋤でよくならします。

そして地表面が滑らかになつたら前述の牧草の不本科のオーチャードグラスとイタリアンライグラスをよく攪拌混合して全量の二分の一を地区の縦に撒播し、残りの二分の一を横に撒播し平均に播種します。

(初歩の方は土を一八センチ混ぜて増量しておけば丁寧に播種したこととなり結果が非常によろしい。)

レッドクロバは農業試験場等より根瘤菌の払下げをうけて菌を接種するか、近くのレッドクロバの根の土を混ぜて〇・八キのもの九〜一八センチの土にまぜて増量しておいて、前記の方式で縦横に平均に播種します。

◎覆土の要領

播種後の覆土ですが、竹箒(庭掃除用)で丁寧に地表面を二〜三回はききます。(牧草の種子粒は極めて小さいので他の方法では覆土し過ぎることになります。)

結果としてごく一部分の種子が地表面に見えています。それが結構です。

最後が鎮圧ですが、牧草播種には鎮圧が特に大切であり、若し丁寧に播種してもこの鎮圧が行われないと大失敗となります。



三種混播の草地

(イタリアンライグラス、オーチャード、レッドクロバ)

牧場ではローラーを以つて圧しつけます
が、農家ではドラム確に液体を約三分の一
程度入れたものに栓をして横にして廻転さ
せると地表面を適度に鎮圧出来、且つ非常
に能率があがりますので是非共実行して下
さい。

初期にはイタリアンライグラスがよく生
育します。即ち生育状況をみると翌春三月
ころまでは殆んど独占しているように見え
まして九月播きでは一二月までに草丈三〇
センチ以上に伸びましよう。

広島地方の沿岸等暖かいところでは冬の
飼料として青々とした牧草が秋から冬期間
にかけて二〜三回刈取れます。

そして四月より六月下旬ころまでイタリ
アンライグラスは驚く程の増収が得られ、
めん羊、乳牛の飼育農家にとつて大喜びと



耐病性品種として普及著しい赤クロバー・ケンランド

なりましよう。

ところが六月下旬になるとイタリアンラ
イグラスは枯れ、次にオーチャードグラス
とレッドクロバーがそのころから急に旺盛
な生育をはじめまして三年間位よい生産を
あげてくれます。

◎ラデノクロバーは混ぜないこと

この場合ラデノクロバーを絶対に混ぜな
いことが肝要であり、もし仮りにこの混播
例の外に僅かにラデノクロバーを反当〇・
三ギを混ぜるとオーチャードグラスとレッ
ドクロバーが圧倒されることになり、種子
代だけ損する結果となり、乾燥期になると
ラデノクロバーが枯死して、結果として何
も残らないような悪い草地となる。

これはラデノクロバーの再生力の旺盛な
ことと匍匐茎が繁茂して他牧草より増殖す
るわけであり、またラデノクロバーは乾燥
に弱いことを意味しますのでよく注意しな
ければなりません。

この混播牧草は三〜四年という比較的短
期間の牧草地であり、専ら採草地として利
用すべきで、広島地方の如き経営形態では
放牧地としてより採草目的の方がよろしい
でしょう。

◎加里分苦土分の欠乏に特に注意

レッドクロバー、オーチャードグラスが
急に弱るとかレッドクロバーが少くなつた
場合は加里分の欠乏の場合が多いが、塩化
加里四貫施用すれば若返つて再び旺盛な生
育をしますから留意されたい。またマグネ
シウム(苦土)欠乏の場合は葉色が黄色に
なるから苦土石灰を施す必要があります。

よく牧草地が二年位で収量がぐんぐん減
ずるといふ農家の話をききますが、そのよ
うな農家は少しも加里を施していませんと
いうことです。

それで牧草特にクロバー類のようなもの
では加里分を刈取りにより圃場より多量に
取去ることになるから必ずわずれてはいけ
ないことに注意すべきであります。

農家ではクロバー類の元家が悪くなると



開墾斜面における草生改良の実態
(ラデノクロバーが蔓延して他草を圧倒している)

すぐに硫酸をかける傾向がありますが、こ
れは間違いであつて、そのような場合は先
ず加里不足かどうかをテストするため草木
灰を一部分に施して、一〇日もすれば見違
えるように青々とした元氣旺盛な牧草地と
なります。

硫酸をやればクロバー類はますます枯死
して大失敗となります。特に夏枯れ時期の
硫酸は絶対施用してはいけません。

◎肥料

(1) 元肥(反当) 初年度分

厩肥	一、二五キ以上
炭カル	三〇〇キ
炭成燐肥	三〇キ
尿素	一一・二五キ
塩化加里	一五キ
(鶏糞)	(一八七・五キ)

(註) 尿素は元肥に三七五キ、残り七・五キは二
回にかけて追肥する。

鶏糞は厩肥が全然ない場合に施用すれば堆肥

一、二五キ位に相当します。

(2) 次年度よりの追肥。

炭カル	一八七・五キ	春の彼岸直前 に施肥
炭成燐肥	三〇キ	同右
尿素	七・五キ	四月上旬、六 月上旬の二回
塩化加里	七・五キ	彼岸過ぎ
	一一・二五キ	

◎三種混播牧草におけるイタリアンライグ
ラスは勝利へ導く牧草である。

若し三種混播にイタリアンライグラスを
混ぜなかつた場合は冬期間に霜柱のため、
根が浮いて、早春ころまでにレッドクロバ
ーとオーチャードグラスは極めて僅かの個
体が越冬するだけで大失敗となります。

冬期間にイタリアンライグラスの青草を
得ると同時に旺盛な生長をする茎葉で保護
し、根も霜柱を防ぎますので三種混播牧草
の保護作物と言えましよう。

そして六月下旬に枯死した場合は有機質
の給源となり、根は土壤全域にわたつて分
布しているの、これがまた反当一、一二五

キ以上の有機質を残してオーチャードグラスとレッドクローバーに応援する献身的な効果を発揮しますのでイタリアンライグラスを必ず混播中に入れることであります。

◎春播の場合においてもイタリアンライグラスは勝利の牧草である。

春播の場合は四月中旬ころまでがよい。即ち雑草の新芽が本格的に生長する直前までといえましょう。

イタリアンライグラスを混ぜることによつて、この個体が発芽し生育しているために雑草の個体が入り得ないことになりま。但し春播の場合はイタリアンライグラス自体の生長は秋播の場合程期待できないが雑草駆逐の役目は大きい。

そしてイタリアンライグラスが枯死引退するころにはオーチャードグラスやレッドクローバーが十分生長をつづけていますので良い結果を得られます。そして根は枯れた後有機質給源として働きます。

◎管理の適正は牧草の経済年限を延長する。

この三種混播牧草の栽培において次年度以後の追肥として炭カル、苦土石灰、燐成燐肥、尿素、塩化加里の前記数量を、特に加里欠乏に注意して施肥管理するとか、著しく欠損の地面へ追播をしてよく管理することにより六〜七年間も経済年限を延ばせますので、追肥と管理に注意する必要があります。

◎果樹の下草が良い。
果樹の下草には優秀な成績をあげられます。

◎二年目の追播について

この混播牧草を取獲して驚くのはイタリアンライグラスの好成績であります。二年目にはこの味がなくなりませんが、八月一日〜九月上旬ころにオーチャードグラスとレッドクローバーになつた上にイタリアンライグラスを反当二ヶ位、表面に撒布しますと概ね一ヶ位が発芽して初年目のイタリアンライグラスと同程度の収かくが期待出来て毎年三種混播牧草の魅力を感じます。

飼料作物栽培の手引

酪農家必携の良書案内

昭和二十九年初版発行以来皆様の御好評をいただき参りました。新しい酪農の在り方を真剣に考えなければならぬ今日、全国酪農家必読の良書として御奨めいたします。

売価 送料共 百円

草地改良

― 著眼と事例 ―

熱心なる全国酪農家よりの強い要望に応え各種利用目的に応ずる草地は如何になすべきかを實際事例に基き解説した新版書『飼料作物栽培の手引』の姉妹篇としてお奨め致しました。

売価 送料共 百円

苺の定植について

最近苺の増植が目立つております。定植時にも迫つて来ましたので、簡単に苺の定植について説明いたします。

(一) 定植時期

定植は、九月に入つたらなるべく早い方が良いでしょう。一般に九月中旬頃の方が苗の輸送も安全です。しかし余り遅くなりますと、良く活着せぬ内に寒さによる土壌の凍上により根が浮上つて枯死いたします。

(二) 栽植距離

一般には畦幅二尺、株間一尺位が適當であつて、植えてから三年目位までは発生するランナーは切除して収穫を継続いたします。三〜四年目には収穫が終りましたら、一畦毎に一〜二畦宛古株を抜き取り、残した親株からランナーを発生させて苗を養成いたします。

(三) 植込み時の注意

(1) 苺苗は、乾燥に大変弱い事は御承知の通りで、又過湿に対しても苗腐れをおこし易い。一度定植されれば少くとも二年位は同一地に栽培が行われますから、定植時には堆肥等の有機物(少くとも五〜六百貫位)を施用いたします。植溝に堆肥を入れ場合は良く踏みつけてその上に土を入れて直接根に肥料がふれぬ様にして下さい。特に化学肥料を施用した時には注意して下さい。化学肥料はむしろ、春雪がとけた時に追肥と

して施用した方が良いでしょう。

(2) 植えつけ後は、乾燥地は特に念入りに灌水し出来れば、十分に敷葉して乾燥を防いで下さい。

(3) 植込みの深さは、大切で、余り深くては苗腐れを起し花芽の発育が害され、浅過ぎると乾燥の為活着が悪くなる。心芽に土のかからぬ様に注意して植えて下さい。

次に本秋の苺苗の品種と価格は次の通りです。

苺の優良品種と苗の価格

フェアファックス
二〇株一〇〇円 百株四〇〇円
本種は、寒地型の代表品種で形は大きく味も良く、最近では全く在来種のモノーク等を圧倒して本種は広く栽培されておりま。

ドルセット

二〇株一〇〇円 百株四〇〇円
外觀その他は前者に類似しており、熟期はやや早い様です。着色は大変良く果肉の中心迄鮮紅色となります。品質も上です。ただ収量は幾分劣る様です。

幸五

二〇株二〇〇円 百株八〇〇円
一名砂糖苺とも言われ、形は大きく玉揃い良く、色つきも大変よい。本種は特に甘く、しかも草勢も旺盛なため最近急速に栽培がふえつつ有ります。